

つなげる、つながる、いいまちになる

# 武蔵野市 ● ● ● 市民活動かわら版



発行：武蔵野市市民部市民活動推進課  
制作：NPO 法人 モンキーマジック



最新情報はこちらでチェック！

「いいね！」してね！

<http://www.facebook.com/musashinoshiminkatsudou>

## 「やってみよう！じぶんごとプロジェクト」イベント開催！



「武蔵野市を再発見！わたしが街の演出家！」飯倉清太さん (P.2)



「まなんでつながってまちづくり」左京泰明さん (P.3)

## 市民活動かわら版インタビュー



コミュニティカフェ  
カフェフレンズ  
竹内聖織さん



武蔵野青年会議所  
まちづくり委員会  
及川理沙さん 浅野紀茂さん



むさしの地域猫の会  
西村麻衣子さん 戸井田恵さん



武蔵野市

もしも、あなたが自分の近所や学校や職場など、武蔵野のどこかが大好きで、「誰かのために何かしたいな」そう思ったら、それが市民活動のはじまりです！

武蔵野で学ぶ人、働く人、暮らす人、子どもからおじいちゃんおばあちゃんまで。このかわら版では「他人事じゃないや。何かしたいな・・・」のはじまりをお手伝いする情報をお伝えしていきます。

### 2013 秋号 目次

- やってみよう！じぶんごとプロジェクト第1弾・・・2P
- やってみよう！じぶんごとプロジェクト第2弾・・・3P
- 市民活動かわら版インタビュー・・・4～6P
- 「むさしのNPOアワード」出展者募集・・・7P
- これからのイベント予定 / 編集後記・・・8P

「やってみよう！じぶんごとプロジェクト」第1弾 2013.7.6 開催



# 「武蔵野市を再発見！わたしが街の演出家！」



商工会館・ゼロワンホールにて



スピーカー：飯倉清太（いいくらきよた）さん NPO法人サプライズ代表理事

## 最初は、ほんの小さな一歩。できることから始めよう！

身のまわりの気になっていることを「ひとつごと」ではなく「じぶんごと」として考え、形にしてみよう！という「じぶんごとプロジェクト」。静岡県伊豆市から講師をお招きした第1弾の様子をお伝えします。

### 3枚の写真をきっかけに「ひとつごと」が「じぶんごと」に変わった！

話は2008年1月3日にさかのぼります。伊豆の修善寺でアイスクリームの販売をしていた私が見つけた橋や駐車場、トイレに放置された3つのゴミたち。私はその写真を撮ってブログに載せました。「正月から、こんなことをしていると罰が当たるぞ！」と。

すると友人たちからすぐにコメントが寄せられました。「そんなことを言っている間に、お前が拾え」「飯倉くん、頑張って伊豆をきれいにしよう！」。まるで評論家のようにゴミの放置を批判した私は、こんな反応にはっとしました。「そうか。拾わなくちゃ。」

今思えば、これが「ひとつごと」が「じぶんごと」に変わった瞬間だったのです。それ以前も、こうすれば街がよくなるといったアイデアは持っていましたが、頭で考えていただけでひとつも実行できませんでした。でも、もしかしたら、これならできるかもしれない。「やってみよう！」。ここから、私の活動が始まりました。

### 「伊豆市を守るのは、私たち！」行政を動かした、じぶんごとプロジェクト。

最初は1人でゴミ拾いを始めましたが、これが相当な量。そこで仲間呼びかけ、6人でゴミ拾いを続けました。名前は「影法師」。早朝、誰も見ていないところで活動するからです。

やり始めてすぐにもすごい量のゴミの処理が問題になりました。それでも私たちは行政に頼らず、自分たちで処理しようと考えました。なぜなら、この活動は自分たちで勝手に始めたものであり、そもそも伊豆の街は行政のものではなく、私たちのものですから。

そこで1人300円ずつ持ち寄り、ゴミ処理代に当てました。

活動が10ヶ月ほど経ったころ、伊豆市環境衛生課から電話がありました。行政が「影法師」に気づいてくれたのです。これをきっかけに行政との連携も始まりました。私たちの提言をもとにゴミ清掃活動の推進が実施されました。やがて私たちの団体はNPO法人サプライズになりました。

### できない理由を探すのではなく、できることから始めてみよう！

私たちはゴミ拾いで伊豆を歩きまわることで、街のいろいろなものが見えてきました。そこで気づいたことを批判して終わらせるなら、それは評論家です。

私の活動はその後、社会活動と観光を組み合わせた「ボランティアリズム」として重要文化財級の旅館を清掃しつつ無料で宿泊する企画や、空き店舗を活用した若者交流のプラットホームづくり「9ize（クイズ）」につながりました。今、伊豆市の高校生たちが企画する「清掃甲子園」活動の支援を行なっています。

3枚の写真をきっかけに歩き始めた私の最初の一歩はとても小さかった。そのとき、答えはなかったけれど、始めたことによって今、こんなにも広がっています。評論家を卒業して当事者へ。できない理由を探すのではなく、できることから「じぶんごとプロジェクト」を始めてみませんか。

### 【ワークショップ】100万円で武蔵野市を演出！

講演後、「100万円の予算があったら武蔵野市をどう演出しますか？」という課題にとりくむワークショップを開催。地産地消PRのための学校給食グランプリ、市内の空き家を活用した多世代交流拠点づくりなど、さまざまな活気あふれる意見が挙げられました。最後に飯倉さんから「もし予算ゼロだったらどうしますか？ゼロ円で、1人で、今すぐできることが100万円プロジェクトにつながります。皆さんの『じぶんごとプロジェクト』を応援しています！」

# 「まなんで つながって まちづくり」



武蔵野プレイス・フォーラムにて



スピーカー：左京泰明（さきょうやすあき）さん NPO法人シブヤ大学学長

## とにかく一歩踏み出そう！そこからは違う景色が見える。

「じぶんごとプロジェクト」の第2弾は、あらゆる世代の人々へ生涯にわたる学びの場を提供するシブヤ大学の取り組みについて、スピーカーの左京さんが参加者の皆さんからの質問に答えながら、対話形式で進行了。双方向の講演会、どんな様子だったのでしょうか。

### シブヤ大学ってどんな大学？

渋谷の街をまるごと、キャンパスに見立てた学びの場です。そして、学ぶ人も教える人も普段、渋谷で生活していたり、働いている人。共に学ぶ「共育」の場、それがシブヤ大学だと考えています。

2006年にスタートし、これまでに開いた講座はおおよそ900。「学生」登録数は、約1万7千人になりました。

### 講座はどんなふう企画するのですか？

講座は全て1回限りの講座です。講座のプランは、今人々が何を学びたいか、そのニーズを探りながらつくっていきます。東日本大震災が発生した後はそれまでに決めていた計画を一度白紙にして、過去の震災を事例に街がどう復旧していったかなど人々が知りたいと思うテーマで講座を開きました。

教える側の視点ではなく、学ぶ人が学びたい講座を開く。その視点で企画しています。

### NPO法人としてどのようにして収益を？

寄付や協賛をいただくだけでなく、販売促進やマーケティングなど企業活動とリンクさせ、互いにメリットのある形で区内の企業に提案し連携しています。

実は、はじめは企業のCSR部門などを訪問し協賛金をお願いしていました。でも、ほとんど門前払い（笑）。そんなとき、あるビールメーカーからタイアップできないかという提案がありました。そして生まれたのが『シブヤ大学のビール醸造ゼミ』。その後、次々に企業との連携による講義が生まれました。今は、収益のおおよそ6割を占めています。

渋谷は商業地ですから、共同事業の種はたくさんあるのです。さらに、行政との連携による収益が3割。教育委員会の生涯学習部門からの委託という形で一般区民向けの公開講座を行なっています。そして受講者からの寄付がおおよそ1割です。

### シブヤ大学を始めたきっかけは？

私の生まれ故郷は北九州市。炭坑閉鎖が続く中で廃れていました。中学や高校を出て働き始める友人が多い中、私は恵まれていて大学にも進学できました。「社会に出たら、それを返せる仕事をしたい」。ここから始まっていたのだと思います。

大学卒業後、国際貢献につながるだろうと商社に就職して3年ほど経ったとき、「グリーンベルト運動」でノーベル平和賞を受賞したワングリ・マータイさん（「MOTTA INAI」で有名になりました）など、社会の課題解決という公的 목적を持ち、かつビジネスとしての要素を持ち合わせたハイブリッドな事業モデルを知りました。「これだ、これしかない！」。私は辞表を出し、NPO法人の行っていた清掃活動に参加したのです。これが、私の「じぶんごとプロジェクト」が始まった瞬間です。

他人事をじぶんごとへ。今、何か始めたいことがあっても、どうすればよいかわからない、周りからどう見られるか不安だ、とさまざまな不安があるかもしれません。でも考えるだけでなく、とにかく踏み出しましょう。自分の「〇〇してみたいなあ」という思いに素直になってみませんか。踏み出してみると、そこからは違う景色が広がっています。

もう十分に迷いがあつた人は、そろそろ「そのとき」が来ているかもしれませんよ。

シブヤ大学 HP / <http://www.shibuya-univ.net/>

# 市民活動かわら版インタビュー

「市民活動って、何?」「どんな人たちがどんなことをやっているの?」

そんな疑問にお答えする、市民活動かわら版インタビュー。毎回、市民活動を担う皆さんにお話を伺います。

## 「社会の一員として、何か連携をとっていけるような場所を作れたらと考えたのがきっかけです」



第2回 竹内 聖織 (たけうち まさおり) さん

(コミュニティカフェ カフェフレンズ オーナー)



吉祥寺・カフェフレンズにて

**聴き手:** はじめに、竹内さんが取り組んでいる活動について教えていただけますか?

**竹内さん:** 2011年4月から、「つながりづくり、きっかけづくり」のコミュニティカフェを運営しています。

**聴き手:** コミュニティカフェを始めようと思ったきっかけはなんですか?

**竹内さん:** 私の場合、何か大きなきっかけがあったというより、積み重ねなんです。以前から、人とのつながりが薄い社会になってしまっているんじゃないかと感じていました。そこで、僕自身、社会の一員として、何か連携をとっていけるような場所を作れたらと思ったのがきっかけです。

**聴き手:** 「連携」をとれる場所というのは、どのようなイメージでしょうか。

**竹内さん:** いろいろな人が集まれば一人じゃできないことも成し遂げられるんじゃないかと考えますし、多くの可能性が可能性が生まれると私は思っています。

**聴き手:** コミュニティカフェを作ってみて、嬉しかったことや良かったと思うことはどんなことですか?

**竹内さん:** 一番嬉しいと感じることは、初めて会った人同士が、親交を深めていってくれることです。何の共通点もない人たちがこのカフェで素敵につながりを作ってもらえると、やっていて本当に良かったと思います。

**聴き手:** カフェでイベントも開催しているんですね。

**竹内さん:** チャリティーライブや卓球大会、料理教室など様々なイベントを開催しています。これも人とのつながりで開催されることがほとんどです。個人個人がそれぞれ自分の得意なことを持っている。それを活かしてイベントを行っています。

**聴き手:** 最後に竹内さんのようにコミュニティの場を作りたいと思っている方達へメッセージをお願いします。

**竹内さん:** 二つあるのですが、一つ目は「何度も会う」ということを大切にしたいということです。せっかく出会っても一回限りで終わってしまうのではなく、何度も会う仕組みを作りたいという思いから、私の場合はカフェという形態にしました。カフェにすれば、勉強したり、食事したり、仕事したりといろんな使い方ができて、一番気軽に来られる場所です。そこで、価値観の異なる人同士でも親近感を感じてもらえるのではないかと思います。二つ目は、現代人は、運動不足や野菜不足と同じように、人との付き合い不足です、そこに気付きましょう、ということをお伝えしたいですね。

**聴き手:** 貴重なお話をありがとうございました。

### カフェフレンズ

〒180-0002 東京都武蔵野市吉祥寺東町 1-4-24  
JR 吉祥寺駅中央北口徒歩 6 分

【定休日】 毎週月曜日

【問合せ】 : 090-8347-8933 (店長竹内)

カフェフレンズでは毎月様々なイベントを開催しています。詳細情報はこちらからどうぞ↓

<http://ameblo.jp/cafefriends/>



# 市民活動かわら版インタビュー

## 「同じ活動をしている他団体との横のつながりが、新たな広がりを生み出します」



第3回 及川理沙 (おいかわりさ) さん  
浅野紀茂 (あさのかずしげ) さん

(公益社団法人武蔵野青年会議所 まちづくり委員会副委員長)



及川さん(左)と浅野さん(右) 商工会館 / 青年会議所事務所にて

**聴き手:** 武蔵野青年会議所とはどんな団体なのでしょう。また、まちづくり委員会の活動についても聞かせてください。

**浅野さん:** 奉仕・修練・友情の三信条のもと、地域貢献と明るい豊かな社会の実現を目指して、異なる業種の仲間が活動を行っている団体です。私たちのような事業者を含めた市民が政治に関心を持つこともまちづくりの一つと考え、6月には青年会議所メンバーと市長との対談を行いました。

**及川さん:** 今年のまちづくり委員会では、地域発展の貢献に取り組んでいますが、その「まちづくり」をまずは知ってもらうためのイベントを開催しました。また、すでにまちづくりの活動をしている団体はあっても、単体で行えることには限界があります。そこで横のつながり、パイプを作ろうという点に力を入れてきました。

**聴き手:** 近い活動をしている人たちと組むことを強化されたのです。まちづくり委員会の事業はどのような方向に向けてPRしているのですか？

**及川さん:** 市外から武蔵野に来る方、市内在住の方どちらにも武蔵野市についてもっとよく知っていただきたいと思っています。6月には「知ろう!学ぼう!まちづくり」という企画で、吉祥寺の街を使ったクイズラリーを行うイベントなどに取り組みました。

**浅野さん:** クイズラリーでは、市民の方や市外からいらした方に楽しんでいただきつつ、参加団体がそれぞれのような活動をしているのかPRできるよう、ブースを用意して写真展示、パンフレットなどを使って活動紹介を行うなどしました。この過程で参加団体の連携が図れたと思います。



6月8日に開催「知ろう!学ぼう!まちづくり」イベントの様子

**聴き手:** 今後、取り組んでいきたいことは？

**浅野さん:** 他団体と協力しながら、横のつながりを強め、武蔵野市を良くしていく、知っていただくことに今後も取り組みたいです。

**及川さん:** まちづくり委員会担当は毎年変わりますが、青年会議所メンバーは全員同じ気持ちでまちづくりを行っています。そういった意味でも、横のつながりを継続させることはやはり大切だと思っています。

**聴き手:** お二人がそれぞれ活動していて良かったなと感じたエピソードはありますか？

**及川さん:** 今日のインタビューもそうですが、事業で出会った人とのつながりが、新しいものを生んだときです。一度できたつながりは大事にしていきたいですね。

**浅野さん:** 私もつながりですね。事業の中で、他の団体さんから、「一緒にやれることが広がるね。次の青年会議所の事業で声かけてよ」と言ってもらえたことが嬉しかったです。

**聴き手:** 青年会議所に関心を持っている方、活動に参加してみたい方へメッセージをお願いします。

**及川さん:** まずは気楽に遊びに来てください。20～40歳までの方なら入会できます(※入会審査あり)。まずは、事業イベントの設営などを一緒にやっていただき、実際どのようなことをやっているか見てもらえればと思います。皆仕事を持ちながらの活動なので、大変なことも多いのですが、そこから友情も生まれると感じています。是非一度、事務局にお問い合わせください。

**聴き手:** 貴重なお話、ありがとうございました。

公益社団法人 武蔵野青年会議所

お問い合わせや資料請求は下記よりどうぞ  
【事務局問い合わせ】

TEL 0422-22-1896 / FAX0422-22-7095

ホームページ <http://www.musashino-jc.net/>

Facebook <https://www.facebook.com/jcimusashino>

# 市民活動かわら版インタビュー

## 「ノラ猫はゼロにしたい。みんな おうちの猫にしたいというのが目 標です」

会の名前にも入っている「地域猫」というのは、その地域で管理され、地域で飼われている猫たちのことを言います。もともとノラ猫だった猫が、地域の住民の方たちの協力により地域で飼われるようになった、そんな猫たちです。



### 第4回 西村 麻衣子(にしむら まいこ)さん 戸井田 恵(といだめぐみ)さん

(むさしの地域猫の会)



戸井田さん(左)と西村さん(右) 吉祥寺サンロードにて

フェイスブックでも活動報告を投稿すると、応援メッセージがコメントされ、改めて頑張ろうと思えます。辛いことが多い分、応援してくださる声を聴くと一人じゃないと思えます。

**戸井田さん:** この活動は人間ための活動でもあります。猫にとっては何もよい話ではないんです。地域美化のため、トラブルを防止するための活動なのです。基本的には猫好きの人が活動していますが、猫の嫌いな人にも一緒に、同じ目的で参加し、一緒に考えていくことがより良い方向につながると思えます。ぜひ参加していただきたいです。

**聴き手:** 一緒に活動する人はまだまだ必要なのですね。

**西村さん:** 実際に活動できる人はまだわずかです。地域猫の活動というのは、地域の方自身が取り組むことが本来の姿です。私たちは、そのアドバイスや相談にのることが本来の役割です。また、地域の中のつながりがあると協力も得やすいのです。先日、猫に困っている方とお話をしたところ、私たちの団体について誤解されていたことが分かりました。単純に「猫好きの集まり」「エサやりをする会」だと思われていたようで、全く違うことに驚かれました。

**戸井田さん:** 地域猫によるトラブルを減らし、猫と共生できるようそれぞれが協力し合い、一緒に取り組んでいただければと思います。

**聴き手:** エサやりだけをするのではなく、TNR やトイレの設置まで考えることが猫のためにも必要なのですね。貴重なお話、ありがとうございました。

### むさしの地域猫の会

むさしの地域猫の会は、武蔵野市との協働で、猫によるトラブルを減らし、人と猫が快適に共生できるまちづくりのための活動を行っています。

お問い合わせはホームページからお願いします。

ホームページ <http://www.musashinoneko.com/>

Facebook <https://www.facebook.com/Musashinocat>

**聴き手:** この会の活動のきっかけを聞かせてください。

**西村さん:** もともとは武蔵野市内でノラ猫の問題について話し合う「ニャンポジウム」という会がきっかけと聞いています。その流れで2006年にこのボランティア団体が発足しました。

**聴き手:** 主にどんな活動をされているのでしょうか？

**西村さん:** 取り組みの基本はTNR(捕獲・手術・リターン)です。それに付随して譲渡会を行っています。というのも、TNR 活動をしているとどうしても猫を保護しなければいけないケースがあり、その子たちのおうちを決めるために譲渡会を行うという流れになっています。また正しい知識をお伝えする活動も行っています。外にいる猫にエサをあげる方は結構いると思いますが、それと一緒に不妊・去勢手術をするという発想はなかなか生まれません。

**戸井田さん:** エサはあげても、トイレは準備しないということがほとんどです。猫があるお家でエサを食べて、隣のお家で排泄をしてしまう。そのことによってご近所トラブルが生まれてしまうこともあります。そういったことを防ごうというのも活動の目的です。

**聴き手:** この活動に取り組んでいて、良かったと思うのはどんな時ですか？

**戸井田さん:** 里親さんから、譲渡された猫のその後の報告をいただき、幸せになったのだなと感じる時です。

**西村さん:** 私もです。それから、街を歩いていてノラ猫を見なくなったことが感じられると嬉しいですね。夏は暑く冬は寒いうえ、精神的な負担も多いハードな活動です。そのような中で、とても感謝されることもあります。



飼い主のいない猫の譲渡会の様子

# 「むさしのNPOアワード」の出展者を募集します！

2014年3月7日（金）・8日（土）に「第一回むさしのNPOアワード」を開催します！

このイベントは、今年度1年間に、『どれだけ「魅力的で」「楽しく」「価値がある」活動をしたか』を市民に発表して、みんなで投票しあって盛り上げてしまおう！というイベントです。

学園祭での展示発表のイメージで、各団体はパネル展示で市民や地元企業の方など、様々なジャンルの方に向けて自分達の1年間の活動や、今後の予定などを発表します。

## < 日時・場所 >

3月7日（金）@ 武蔵野プレイス      パネル展示  
3月8日（土）@ 成蹊大学              パネル展示およびアピールイベント



## パネル展示

模造紙1枚程度のスペースとカタログ等を置けるスペースを用意する予定です。来場者に団体の活動内容について理解を深めていただき、仲間づくりのきっかけとなるような展示を作成してください。展示スペースに説明の方がいてもよいですね。



## アピールイベント

希望団体は、1団体5分程度で、ご自身の団体のプレゼンテーションができます。今後の活動の予定などもお話いただき、市民の方や他団体、地元企業の方にご自身の活動をアピールしてください。

- 期間中には、来場者に様々な色の「いいね！」シールをパネル等に貼っていただきます。団体の活動への反応を直接感じることができます。まずは、多くの方に活動を知っていただき、今後の活動の参考にしてください。
- イベントの最後には、市民の方のご意見を元に「よく考えましたで賞」、「とっても楽しそうで賞」、「パワーあふれるで賞」など、さまざまなアワードを団体に贈ります。

今回は、「武蔵野市NPO活動補助金交付事業報告会」と「多摩コミュニティビジネスシンポジウム」との同時開催です。両イベントにご興味ある団体の方もぜひご参加ください。

武蔵野市NPO活動補助金交付事業報告会：

[http://www.city.musashino.lg.jp/shiminkatsudo/npo\\_katsudo/004345.html](http://www.city.musashino.lg.jp/shiminkatsudo/npo_katsudo/004345.html)

多摩コミュニティビジネスシンポジウム（多摩CBネットワーク） <http://tamacb.org/>

募集出展団体：

\* 武蔵野市内のNPO法人

\* 2013年4月以前に活動を開始し、武蔵野市内に在住・在勤・在学の方が活動の中心を担っているグループ

NPOとはNon Profit Organizationの略、日本語にすれば「非営利活動団体」の意味。つまりここで言う市民活動団体は法人格の有無を問うものだけではありません。

NPO団体はもちろんのこと、近所のお祭りやイベント、清掃活動など、「市民活動」はいろいろ。仲間作りや支援の手を求めている団体は、ぜひご出展ください！

応募・お問い合わせ：

団体名・活動内容・担当者氏名・連絡先（E-mail・TEL）を明記の上、Facebookメッセージ「武蔵野市市民活動かわら版」NPO法人モンキーマジック（[musashino@monkeymagic.or.jp](mailto:musashino@monkeymagic.or.jp)）武蔵野市市民部市民活動推進課（FAX：0422-51-2000）までご連絡ください。  
詳細な資料をお送りします。



## これからのイベント予定

### ●やってみよう！じぶんごとプロジェクト 第3弾 想いを育てる・支える 仕組みづくり

日 時：2013年11月17日（日）13:00～15:30  
 受 付：12:30～  
 参加費：無料／お申込み不要です。当日、直接会場へ。  
 定 員：50名  
 会 場：ゼロワンホール  
 （吉祥寺駅北口より徒歩5分 武蔵野商工会館4階）  
 対 象：武蔵野市が好きな方、市民活動に興味のある方、  
 すでに市民活動をされている方

#### 【スピーカー】

- ・田島 沙也加（たじま・さやか）さん  
（クラウドファンディング READYFOR? チーフキュレーター）
- ・嵯峨 生馬（さが・いくま）さん  
（特定非営利活動法人 サービスグラント 代表理事）

アイデアに対する資金調達システムの一つであるクラウドファンディングと、各専門家がボランティア活動をするプロボノと NPO 法人のマッチングについての講演を行います。

### ●「むさしのNPOアワード」（関連詳細記事：P7）

日時・会場：  
 2014年3月7日（金）@武蔵野プレイス  
 2014年3月8日（土）@成蹊大学

また、同会場にて下記イベントも同時開催します。  
 ぜひ、お楽しみください。  
 3月7日（金）：NPO活動補助金交付事業報告会（午後の予定）  
 3月8日（土）：多摩コミュニティビジネスシンポジウム

詳しくは、下記をご覧ください。  
 Facebook ページ「武蔵野市市民活動かわら版」  
<http://www.facebook.com/musashinoshiminkatsudou>  
 「NPO活動補助金交付事業」  
[http://www.city.musashino.lg.jp/shiminkatsudo/np0\\_katsudo/004345.html](http://www.city.musashino.lg.jp/shiminkatsudo/np0_katsudo/004345.html)  
 「多摩コミュニティビジネスシンポジウム（多摩CBネットワーク）」  
<http://tamacb.org/>

じぶんごとプロジェクト・むさしのNPOアワードについてのお問い合わせは、  
 NPO 法人モンキーマジック（[musashino@monkeymagic.or.jp](mailto:musashino@monkeymagic.or.jp)）  
 または武蔵野市市民活動推進課（0422-60-1830）へ

#### 【編集後記】

例年がない厳しい暑さもひと段落。武蔵野の街にも清々しい風が吹き抜ける中、私たちは市民活動や地域活動を行う様々な方たちのお話を聴かせていただくことが出来ました。そんな中、ふと気づいたことがあります。取り組んでいることは異なっても皆さんに共通点があったのです。それは2つ。「どんなに小さなことでも、まず自分の身の回りのできることから一歩を踏み出し、行動に起こしたこと」と「人とのつながりの大切さよく知っていること」です。  
 市民活動やまちづくりは、一人一人の小さな一歩と、つながりで育んでいくものなのだ、あらためて気づかせていただきました。また、一人一人の生き活きと、また爽やかな笑顔が印象的でした。かわら版の編集を通じて、今後の出会いがとても楽しみになりました。秋も深まってきます、みなさんくれぐれもご体調には気を付けて、お過ごしくださいね。（松崎）



7月6日に開催されたワークショップの様子



武蔵野市

## 武蔵野市市民活動かわら版 2013年秋号

2013年11月5日発行

#### 発行

武蔵野市市民部市民活動推進課  
 〒180-8777  
 東京都武蔵野市緑町2-2-28  
 武蔵野市役所西棟7階  
 Tel 0422-60-1830/Fax 0422-51-2000

[np0@city.musashino.lg.jp](mailto:np0@city.musashino.lg.jp)  
<http://www.city.musashino.lg.jp/>

#### 編集・制作

特定非営利活動法人モンキーマジック

〒180-0002

東京都武蔵野市吉祥寺東町4-11-6  
[musashino@monkeymagic.or.jp](mailto:musashino@monkeymagic.or.jp)

#### 制作スタッフ

小林幸一郎  
 野村式栄  
 松崎優佳  
 宮永敏子

「武蔵野市市民活動かわら版」へのご意見や感想、紹介したい市民活動グループの情報など、お寄せください。

「武蔵野市市民活動かわら版」は、武蔵野市とNPO法人モンキーマジックによる協働で制作しています。